

オプトアウト

1 研究課題名「非妊娠時の体重当たりの抗生剤投与量調節による術後感染症の予防効果の検証」

2 研究の対象

当院産婦人科で帝王切開術を受けた患者

3 研究期間

2022年から2024年

4 研究の目的

「術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン」には肥満は術後感染症の高リスク因子となっている。しかし、これまで当院では非妊娠時に肥満の患者に対しても、非肥満妊婦と同様に術後感染症予防として手術時にセファゾリン 1g 投与で終了していた。そのため、非妊娠時の体重 80 kg以上の患者に対し、帝王切開時にセファゾリン 2g 投与をすることとした。体重によって手術時の抗生剤の投与量を調節することで術後感染症発症を減少させられるか調査した。

5 研究の方法

電子カルテを使い後方視的に調査

6 研究に用いる試料・情報の種類およびその取得方法

分娩台帳と電子カルテを用いて術後感染症発症率、非妊娠時の体重・BMI、破水、eC/S、予定C/S、分娩停止、GDM 既往、リンデロン使用、GBS 感染症の有無の情報を収集する

7 外部への資料・情報の提供

患者情報は該当患者が特定不能の状態です。薬剤師東北ブロック大会、または、医療薬学会で発表予定

8 資料・情報を利用する者の範囲/研究組織

仙台赤十字病院薬剤部坂田摩耶、田村優衣

9 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば他の研究者対象者の個人情報および知的財産の保護の支障のない範囲で、研究計画書および関連する資料の閲覧が可能となっております。ご希望される方はお申し

出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

住所： 〒982-8501 宮城県仙台市太白区八木山二丁目 43 番 3

電話番号： 022-243-1111

研究責任者： 仙台赤十字病院 薬剤部 坂田 摩耶